

主題：「神の宮である召会（神の永遠のエコノミーの目標）」
の内在的な意義

メッセージ 14

最も卓越した道と卓越した賜物は神の宮である召会を建造する神の唯一の働きのため
である

聖書： I コリント 3:6-17. 8:1, 3. 12:31 後半— 13:13. 14:4 後半, 12, 26, 31

I. 宇宙における神の唯一の働きとは、キリストの中でご自身を神の選びの民の中へと建造することによって、神の宮である召会を建造することです——エペソ3:16

-21:

- A. わたしたちの働きの目標とは、キリストを人の中へと供給し、三一の神がご自身を彼らの内なる存在の中へと建造することです—— I テモテ 4:6-7. 5:1-2. I コリント 3:6-17。
- B. わたしたちの建造について極めて重要なことは、「どんなものであるか」ということです—— 12-13 節。

II. 愛は、神の宮である召会を建造する最も卓越した道です——12:31後半—13:13:

- A. 聖書における最も偉大な啓示とは、神は愛であるということです——マタイ 26:13. I ヨハネ 3:1-2:
1. キリスト、すなわち、人の子として来てわたしたちを罪から贖う方は、愛としての神であり、わたしたちの法理的な贖いのためにわたしたちをはぐくみます—— I テモテ 1:15。
 2. キリスト、すなわち、神の御子として来て神聖な命をわたしたちの中へと豊かに分け与える方は、愛としての神であり、わたしたちの有機的な救いのためにわたしたちを養います——ヨハネ 10:10 後半. ローマ 5:10。
- B. 神の愛は、神ご自身です。愛は神の内側の本質であり、神の心です—— I ヨハネ 4:8, 16. I コリント 3:12 前半。
- C. 「わたしは人の綱、愛のきずなで彼らを引いた」——ホセア 11:4:
1. 「人の綱、愛のきずな」という句が示しているのは、神が神性の水準ではなく、人性の水準で、ご自身の神聖な愛をもってわたしたちを愛するということです。神の愛は神聖ですが、それは人の綱において、すなわち、キリストの人性を通してわたしたちに届きます。
 2. 神がわたしたちを引く綱は、キリストの肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天を含んでいます。キリストの人性におけるこれらすべての段階によって、神の愛は、彼の救いにおいてわたしたちに届きます——ローマ 5:8。
 3. キリストから離れては、神の永遠の、変わらない、征服する愛は、わたしたちに関して優勢であることができません。なぜなら、それはキリストの中の、キリストと共にある、キリストによる、キリストに対する愛であるからです

— 5, 8 節. 8:35-39。

- D. わたしたちはキリストの愛であふれ、押し流される人でなければなりません。神聖な愛は、わたしたちに対する大量の水の強烈な流れのようであり、わたしたちを駆り立てて、自分自身の制御を越えて彼を愛させ、彼に生きさせるはずです——Ⅱコリント 5:14-15：
1. わたしたちが神を愛することは、わたしたちを神に祝福された人にします。そしてわたしたちの理解を越えて、神がわたしたちのために定め、備えられた神聖な祝福（神の深みとしてのキリスト）にあずかせます——Ⅰコリント 2:9-10
 2. わたしたちが主を愛さないことは、わたしたちをのろわれた者、のろいのために取って置かれた者にします——Ⅰコリント 16:22。
- E. わたしたちが神のエコノミーの健康な教えにとどまり、それを目的とする命令の結末、結果は、「純粋な心と、正しい良心と、偽りのない信仰とから出て来る愛」です——Ⅰテモテ 1:3-6. 参照、6:3-4。
- F. 神聖な性質にあずかる者となるとは、神の本質の性質としての愛を享受する者となることです。そうすれば、わたしたちは彼との交わりの中で神を愛として享受することができます——Ⅰヨハネ 1:2-3：
1. わたしたちは、神聖な交わりの中にとどまって、神の本質における愛としての神が何であるかを享受するなら、神の愛の中で浴します（Ⅱコリント 13:14）。わたしたちは愛の人となるだけではなく、愛そのものとなります。
 2. この愛は、わたしたちに浸透して、ついにはわたしたちが兄弟たちを愛する愛となるはずです。主は、そのような兄弟愛の召会を願い求めておられます——啓 3:7 前半。
- G. 「知識は人を思い上がらせますが、愛は人を建造します」（Ⅰコリント 8:1）。思い上がらせる、外側の、客観的な知識は、死の源である善悪知識の木からきます。その霊の、またその霊の中にある愛は（ローマ 15:30, コロサイ 1:8）、命の源である命の木からきます——創 2:9。
- H. 「人が神を愛するなら、その人は神に知られているのです」——Ⅰコリント 8:3：
1. 神によって知られるとは、神によってご自身の宝として所持され、所有されることです。神によって知られる人は、神の喜び、娯楽、楽しみとなります——参照、コロサイ 1:10。
 2. 神があなたを知らないと言うことは、彼があなたの道を是認しないことを意味します（マタイ 7:22-23）。主はバラムに告げました、「わたしが敵対して出て来たのは、あなたの道がわたしの前に悪であったからだ」（民 22:32）：
 - a. わたしたちは、主のみこころを追い求めていても、実は自分自身の願いを遂行することを欲するなら、バラムが自分自身を欺いたように、自分自身を欺むくかもしれません——8 節。
 - b. わたしたちは、主のみこころを知り、それを行なうこと以外にどんな願いも持たずに、主のみこころを尋ね求めるべきです——31:16, ユダ 11。

- I. 「愛は辛抱強く、愛は親切で、ねたみません。愛は誇ることがなく、思い上がることもありません。それは無作法をしません。また自分の利益を求めません。それはいらだちません。また人の悪を数えたてません。それは不義のゆえに喜ぶことをせず、真理と共に喜びます。それはすべてを覆い、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐え忍びます。愛は決して絶えることはありません」
—— I コリント 13:4-8 前半。
- J. キリストのからだは愛の中でそれ自身を建て上げます——エペソ 4:16, 1:4-5, 6:23-24. 参照、ガラテヤ 5:25-26。
1. 神がまずわたしたちを愛してくださり、その中で神は彼の愛をもってわたしたちに注入し、わたしたちの内に愛を生み出してくださいました。わたしたちはその愛をもって神と兄弟たちを愛します—— I ヨハネ 4:18-21。
 2. 兄弟愛に関する戒めは古くもあり、新しくもあります。古いのは信者たちが彼らのクリスチャン生活の初めから持っていたものだからです。新しいのは彼らのクリスチャンの歩みが何度も何度も新しい光をもって夜が明け、新しい照らしと新鮮な力をもって輝いたからです—— 2:7-8, 3:11, 23. ヨハネ 13:34。
 3. 互いに愛し合うことはわたしたちがキリストに属しているしるしです—— 34-35 節。
 4. 召会の中がかしらになりたがることはわたしたちの初めの愛としての主をもってすべての兄弟たちを愛することと相對する—— III ヨハネ 9, 啓 2:4. コロサイ 1:1:18 後半。
 5. 主イエスが彼の魂の命を捨てることによって、わたしたちが神聖な命を得たのと同じように、わたしたちはわたしたちの魂の命を捨て、自分を否んで、実行上の召会生活の中で兄弟たちを愛し、彼らに命を供給する必要があります。—— I ヨハネ 3:16. ヨハネ 10:11, 17-18. 15:13. エペソ 4:29-5:2. II コリント 12:15. ローマ 12:9-13。
 6. わたしたちはこの世とその享樂を愛さないことによって魂の命を捨てる必要があります。しかし、むしろ兄弟愛の召会生活の中で愛としての神を得て、神を表現することがわたしたちの喜び、楽しみ、娛樂、幸いであるべきです—— I ヨハネ 2:15-17. マタイ 16:25-26. 詩 36:8-9. 43:4. 参照 II テモテ 3:4。
 7. 兄弟愛は、召会の中でわたしたちが必要のある聖徒たちの必要を顧みることによって實際的に表現されます。それは、どのような利己的な目的や、外面で自己を顕示することなく、必要のある聖徒たちに物質の物を分け与えるときに、主の愛を伴った彼の命の恵みがキリストのからだの肢体の間に流れ、彼らの中へと注入されます—— I ヨハネ 3:17-18. マタイ 6:1-4. ローマ 12:13. II コリント 8:1-7。
 8. パウロは愛の確信の言葉をもってコリント人への第一の手紙を終えています。これは天然の愛ではなく、キリストの恵みとその靈の交わりを通してわたしたちのものになったキリストにある愛、神の愛です—— 16:24. II コリント 13:14。

Ⅲ. 預言は神の宮である召会を建造する卓越した賜物です——マタイ16:18. I コリント14:1, 4後半, 12:

- A. わたしたちが極みまで主を愛し、愛である神で満たされる時、彼は預言（神のために語り出すこと）によってわたしたちの内側から他の人の中へとあふれ流れて、召会を建造します——ヨハネ 21:15, 17. I コリント 14:4 後半:
1. わたしたちは主を愛すれば愛するほど、彼にとってかぐわしく、甘い、新鮮な、価値のある奉仕をもって主のために語るよう資格づけられ、成就され、装備されます——ヨハネ 12:3. II コリント 2:15. エペソ 5:2. ローマ 7:6. I コリント 3:12 前半. 雅歌 4:16.
 2. わたしたちが愛である神で満たされていないとき、わたしたちの語りかけは「鳴り響く鐘や騒がしいシンバル」のようであって、命を与える霊を供給する代わりに、命のない音を与えてしまいます——I コリント 13:1. II コリント 3:6. ヨハネ 3:34. 6:63.
 3. 主に対するわたしたちの愛とは、主のために語るわたしたちの力、また権威の要因、要素、本質です。
- B. 預言とは、召会の建造と信者たちのための励まし、聖徒たちの霊的な繁栄のための慰めを人に対して語ることです——I コリント 14:3. 参照、3:12。
- C. 神の願いは彼のすべての聖徒たちが預言することです——民数記 11:29. I コリント 14:31:
1. わたしたちは神の御言の中で、また命の成長と神との接触の中で学ぶことによって預言することができるようになります——31 節. II テモテ 3:16-17. ガラテヤ 5:25. マタイ 11:28-30.
 2. わたしたちは預言者によって成就されて、預言することができるようになります——エペソ 4:4-12.
 3. わたしたちはすべての集会の中で語ることを実行し、人にキリストについて語ることによって預言することができるようになります——I コリント 14:26. ピリピ 2:16 前半. II テモテ 4:2 前半, 5.
- D. コリント人への第一の手紙第十四章を実行するために、召会の最高の集会、すなわち「それぞれの人に……があり」の集会の必要があります——26 節:
1. 召会の正常な集会とは「互いの」集会、「円卓」の集会であって、その中でわたしたちは語り合い（エペソ 5:19）、互いに教え戒め合い（コロサイ 3:16）、互いに顧みて、勧め合い（ヘブル 10:24-25）、互いに聞き合います（I テサロニケ 5:20）。
 2. 集会に来る前に、わたしたちは主を経験し、彼の言葉を享受し、祈りの中で彼と交わることを通して自分自身を集会のために備えるべきです。
- E. わたしたちは預言の要素、すなわち神の言葉で構成されることと、神の霊によって靈感を受けること、神の光の中にある啓示とをもって語らなければなりません:
1. わたしたちは神の御言の知識を所有しなければなりません——人の学びの要

素——Ⅱテモテ 3:16-17. エゼキエル 3:1-4。

2. わたしたちは聖霊の即時的な靈感を持たなければなりません——神聖な靈感の要素——Ⅰコリント 14:32, 37 前半. Ⅰヨハネ 1:6-7. ローマ 8:4。
 3. わたしたちは神聖な光の照らしを通して、神の関心事と神のエコノミーに関するビジョンを持たなければなりません——エペソ 1:17. Ⅰコリント 2:11-12。
- F. こうして、わたしたちはこの命の言葉をもって見たものを語り、その霊の靈感と、神の活気づける愛をもってわたしたちの霊を活用し、神と人を活気づけて、神の宮である召会を建造します——使徒 5:20. 士 9:12-13。